

# ASSET CHOICE REPORT — 羅針盤

## NEW アセットチョイス

変額保険（終身型・有期型）

vol. **338**

2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

今後お払い込みいただく保険料の繰入先ファンドと割合を変更いただくには、「繰入割合の変更」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	世界株式型	会社受付日の翌々営業日
	世界株式型Ⅱ	
	日本株式型成長株	会社受付日の翌営業日
	日本株式型小型株	
	日本株式型	
	欧州株式型	会社受付日の翌々営業日
米国株式型		
総合型	グローバル・バランス型	会社受付日の翌営業日
債券型	世界債券型	
	米国債券型	
金融市場型	金融市場型	会社受付日の翌営業日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで <sup>*1</sup> に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 <sup>*2</sup> に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

(注) 土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

\*1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

\*2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	資産運用 関係費用 <sup>*1</sup>	掲載ページ
株式型	<b>世界株式型</b>	0.77% (税込)程度	3p
	■ 投資対象となる投資信託等：キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 <sup>*2</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：キャピタル・インターナショナル <input type="checkbox"/> 円建/残高約438.3億円		
株式型	<b>世界株式型Ⅱ</b>	0.77% (税込)程度	4p
	■ 投資対象となる投資信託等：キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 <sup>*2</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：キャピタル・インターナショナル <input type="checkbox"/> 円建/残高約438.3億円		
株式型	<b>日本株式型成長株</b>	0.968% (税込)程度	5p
	■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 <sup>*2</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 円建/残高約1,389.6億円		
株式型	<b>日本株式型小型株</b>	1.078% (税込)程度	6p
	■ 投資対象となる投資信託等：フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3 <sup>*2</sup> <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 円建/残高約48.9億円		
株式型	<b>日本株式型</b>	0.682% (税込)程度	7p
	■ 投資対象となる投資信託等：株式インデックス225 <input type="checkbox"/> 運用会社：野村アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 円建/残高約388.4億円		
株式型	<b>欧州株式型</b>	1.0%程度	8p
	■ 投資対象となる投資信託等：Janus Henderson Pan European Fund <input type="checkbox"/> 運用会社：Janus Henderson <input type="checkbox"/> ユーロ建/残高約2,021.8億円(2024年10月末現在)		
株式型	<b>米国株式型</b>	1.045% (税込)	9p
	■ 投資対象となる投資信託等：北米株式ファンド(適格機関投資家専用) <input type="checkbox"/> 運用会社：日興アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 円建/残高約138.5億円		
総合型	<b>グローバル・バランス型</b>	0.99% (税込)程度	10p
	■ 投資対象となる投資信託等：ダ・ヴィンチVA <input type="checkbox"/> 運用会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント <input type="checkbox"/> 円建/残高約26.5億円		
債券型	<b>世界債券型</b>	0.528% (税込)程度	11p
	■ 投資対象となる投資信託等：JDF ワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 円建/残高約38.4億円		
債券型	<b>米国債券型</b>	0.55%程度	12p
	■ 投資対象となる投資信託等：Janus Henderson Flexible Income Fund <input type="checkbox"/> 投資顧問会社：Janus Henderson Investors US LLC <input type="checkbox"/> 米ドル建/残高約766.2億円(2024年10月末現在)		
金融市場型	<b>金融市場型</b>		13p
	■ 投資対象となる投資信託等：特に定めません <input type="checkbox"/> 運用会社：特に定めません		

(米ドル/円=150.74)  
(ユーロ/円=159.2)

※残高と為替レートは2024年11月末現在

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

\*2 適格機関投資家専用

# 世界株式型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
【資産分類】世界株式  
【運用方針】  
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
原則として、為替ヘッジを行い、円ベースでの安定的な収益を追求します。  
\*為替ヘッジは、東京海上日動あんしん生命にて実施します。  
【投資対象となる投資信託】  
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	300.67	-
2024年 1月31日	305.28	1.00%
2月29日	313.65	2.74%
3月31日	319.85	1.98%
4月30日	308.58	-3.52%
5月31日	319.35	3.49%
6月30日	321.56	0.69%
7月31日	323.51	0.61%
8月31日	327.60	1.26%
9月30日	337.46	3.01%
10月31日	329.30	-2.42%
11月30日	328.47	-0.25%
12月31日	320.83	-2.33%
2025年 1月31日	332.11	3.52%
3ヶ月変化率		0.85%
6ヶ月変化率		2.66%
1年変化率		8.79%
3年変化率		10.45%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	221	1.2%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	17,545	98.8%
その他	-	-
資産合計	17,767	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	17,767	100.0%

2025年1月30日から2月18日の間、当社ホームページに掲載した「特別勘定レポート2025年1月」の下記項目の金額に誤りがございました。

- 有価証券等の金額：【誤】16,012百万円 【正】17,173百万円
- 資産合計：【誤】16,049百万円 【正】17,210百万円
- 純資産総額：【誤】16,049百万円 【正】17,210百万円

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル  
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など  
【ベンチマーク】MSCI-World Index

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳※ (2025.1末現在)

国名	ベンチマーク	ポर्टフォリオ	ポर्टフォリオ
	構成比	構成比	銘柄数
北米	76.5%	54.5%	112
アメリカ	73.6%	53.5%	106
カナダ	3.0%	0.9%	6
欧州・中近東	15.6%	30.2%	53
イギリス	3.5%	5.9%	12
フランス	2.7%	9.8%	14
スイス	2.3%	2.2%	6
ドイツ	2.3%	3.9%	7
オランダ	1.1%	1.8%	2
ノルウェー	0.1%	0.0%	0
その他	3.7%	6.6%	12
アジア・オセアニア	7.9%	8.3%	24
日本	5.3%	5.9%	18
香港	0.4%	1.1%	3
その他	2.2%	1.3%	3
その他地域	-	3.0%	7
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

#### ■業種別内訳※ (2025.1末現在)

業種	ベンチマーク	ポर्टフォリオ
	構成比	構成比
情報技術	24.9%	19.7%
資本財・サービス	10.7%	18.2%
金融	16.5%	14.2%
ヘルスケア	10.6%	12.2%
一般消費財・サービス	11.3%	8.8%
コミュニケーション・サービス	8.5%	7.0%
生活必需品	6.0%	5.1%
公益事業	2.4%	3.9%
エネルギー	3.7%	3.3%
素材	3.3%	2.8%
不動産	2.1%	0.6%
キャッシュ他	-	4.0%
合計	100.0%	100.0%

#### ■組入上位10銘柄※ (2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.3%
2 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.0%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.9%
4 アップル	アメリカ	情報技術	2.5%
5 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.2%
6 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
7 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
8 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	2.0%
9 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%
10 GEエアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の雇用統計の発表を受けて景気の底堅さが意識され、利下げ観測が後退するなかで軟調な動きが続き、後半は米国でインフレの鈍化傾向が確認されたことや、米新政権の政策姿勢が懸念されていたほど強硬ではないと受け止められたことなどから、上昇に転じました。セクター別では、情報技術を除くすべてが上昇する展開となり、金融やコミュニケーション・サービスの上昇率が比較的高くなりました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンド・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+0.83%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では情報技術や一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスやヘルスケアにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別では米国の銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、スイスの銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式型Ⅱ (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】1998年12月1日
- 【資産分類】世界株式
- 【運用方針】日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として、為替ヘッジを行いません。
- 【投資対象となる投資信託】キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	339.25	-
2024年 1月31日	467.44	4.83%
2月29日	490.19	4.87%
3月31日	503.98	2.81%
4月30日	504.30	0.06%
5月31日	522.34	3.58%
6月30日	540.49	3.48%
7月31日	519.84	-3.82%
8月31日	506.08	-2.65%
9月30日	517.35	2.23%
10月31日	539.75	4.33%
11月30日	531.64	-1.50%
12月31日	545.39	2.59%
2025年 1月31日	553.96	1.57%
3ヶ月変化率		2.63%
6ヶ月変化率		6.56%
1年変化率		18.51%
3年変化率		63.29%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	12	0.1%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	20,994	99.9%
その他	10	0.0%
資産合計	21,016	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	21,016	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】キャピタル・インターナショナル
- 【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
- 【ベンチマーク】MSCI-World Index

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳※ (2025.1末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	76.5%	54.5%	112
アメリカ	73.6%	53.5%	106
カナダ	3.0%	0.9%	6
欧州・中近東	15.6%	30.2%	53
イギリス	3.5%	5.9%	12
フランス	2.7%	9.8%	14
スイス	2.3%	2.2%	6
ドイツ	2.3%	3.9%	7
オランダ	1.1%	1.8%	2
ノルウェー	0.1%	0.0%	0
その他	3.7%	6.6%	12
アジア・オセアニア	7.9%	8.3%	24
日本	5.3%	5.9%	18
香港	0.4%	1.1%	3
その他	2.2%	1.3%	3
その他地域	-	3.0%	7
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

#### ■業種別内訳※ (2025.1末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
情報技術	24.9%	19.7%
資本財・サービス	10.7%	18.2%
金融	16.5%	14.2%
ヘルスケア	10.6%	12.2%
一般消費財・サービス	11.3%	8.8%
コミュニケーション・サービス	8.5%	7.0%
生活必需品	6.0%	5.1%
公益事業	2.4%	3.9%
エネルギー	3.7%	3.3%
素材	3.3%	2.8%
不動産	2.1%	0.6%
キャッシュ他	-	4.0%
合計	100.0%	100.0%

#### ■組入上位10銘柄※ (2025.1末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ブロードコム	アメリカ	情報技術	3.3%
2 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.0%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.9%
4 アップル	アメリカ	情報技術	2.5%
5 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.2%
6 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
7 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
8 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	2.0%
9 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%
10 GEエアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の雇用統計の発表を受けて景気の底堅さが意識され、利下げ観測が後退するなかで軟調な動きが続きました。後半は米国でインフレの鈍化傾向が確認されたことや、米新政権の政策姿勢が懸念されていたほど強硬ではないと受け止められたことなどから、上昇に転じました。セクター別では、情報技術を除くすべてが上昇する展開となり、金融やコミュニケーション・サービスの上昇率が比較的高くなりました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンド・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+0.83%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)における運用に関しては、セクター別では情報技術や一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、コミュニケーション・サービスやヘルスケアにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別では米国の銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、スイスの銘柄選択などはマイナス要因となりました。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型成長株 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1999年11月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	225	1.3%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	16,799	98.7%
その他	—	—
資産合計	17,024	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	17,024	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	190.71	—
2024年 1月31日	236.96	5.12%
2月29日	247.57	4.48%
3月31日	255.72	3.29%
4月30日	249.45	-2.45%
5月31日	252.45	1.20%
6月30日	260.10	3.03%
7月31日	257.01	-1.19%
8月31日	247.77	-3.59%
9月30日	255.71	3.20%
10月31日	248.72	-2.73%
11月30日	245.96	-1.11%
12月31日	257.80	4.81%
2025年 1月31日	253.20	-1.78%
3ヶ月変化率		1.80%
6ヶ月変化率		-1.48%
1年変化率		6.85%
3年変化率		32.77%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.2%
東証スタンダード	1.6%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.2%
2 銀行業	9.8%
3 輸送用機器	8.0%
4 小売業	6.5%
5 サービス業	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3 日立製作所	電気機器	4.0%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
6 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 東京海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 KDDI	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 170)

### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型小型株 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の小型株式を中心に、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	60	1.4%
有価証券等		
フィデリティ・日本小型株・ ファンドVA3	4,311	98.6%
その他	—	—
資産合計	4,372	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	4,372	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	213.98	—
2024年 1月31日	252.69	0.81%
2月29日	263.33	4.21%
3月31日	265.87	0.96%
4月30日	260.80	-1.91%
5月31日	262.66	0.71%
6月30日	276.76	5.37%
7月31日	277.37	0.22%
8月31日	270.39	-2.52%
9月30日	280.54	3.75%
10月31日	267.32	-4.71%
11月30日	265.41	-0.71%
12月31日	275.59	3.84%
2025年 1月31日	270.15	-1.97%
3ヶ月変化率		1.06%
6ヶ月変化率		-2.60%
1年変化率		6.91%
3年変化率		26.25%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスマールキャップ・インデックス(配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	89.3%
東証スタンダード	7.1%
東証グロース	2.5%
その他市場	—
現金・その他	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 化学	8.1%
2 サービス業	7.6%
3 電気機器	6.8%
4 機械	6.7%
5 小売業	6.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 リゾートトラスト	サービス業	3.1%
2 大阪ソーダ	化学	2.8%
3 宝ホールディングス	食料品	2.2%
4 マニー	精密機器	2.1%
5 スズキ	輸送用機器	2.0%
6 長瀬産業	卸売業	1.9%
7 三井海洋開発	機械	1.9%
8 Keep E R 技研	サービス業	1.9%
9 A Z-COM丸和ホールディングス	陸運業	1.8%
10 サイゼリヤ	小売業	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 87)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、月半ば過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となり、一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込)が+0.37%、東証グロース市場250指数は+1.01%となり、新興市場は堅調でした。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日経225インデックスに連動する運用成果を目指した、わかりやすい投資を基本とするパッシブ運用を行います。  
 【投資対象となる投資信託】  
 株式インデックス225

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	57	0.5%
有価証券等		
株式インデックス225	12,078	99.5%
その他	—	—
資産合計	12,135	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	12,135	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 株式インデックス225の基本情報

【運用会社】野村アセットマネジメント  
 【運用対象】国内上場株式  
 【ベンチマーク】日経平均トータルリターン・インデックス

### 運用状況

#### ■資産・市場別構成比 (2025.1末現在)

資産・市場	構成比
株式	97.6%
東証プライム	97.6%
東証スタンダード	—
東証グロース	—
その他	—
株式先物	2.3%
株式実質	99.9%

※株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。  
 ※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2025.1末現在)

業種	構成比
電気機器	25.4%
小売業	14.2%
情報・通信業	11.5%
化学	5.6%
医薬品	5.5%
その他の業種	35.4%
その他の資産	2.4%
合計	100.0%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	市場	構成比
1 ファーストリテイリング	小売業	東証プライム	11.2%
2 東京エレクトロン	電気機器	東証プライム	6.4%
3 アドバンテスト	電気機器	東証プライム	5.6%
4 ソフトバンクグループ	情報・通信業	東証プライム	4.6%
5 リクルートホールディングス	サービス業	東証プライム	2.7%
6 KDDI	情報・通信業	東証プライム	2.5%
7 TDK	電気機器	東証プライム	2.3%
8 信越化学工業	化学	東証プライム	2.0%
9 テルモ	精密機器	東証プライム	1.9%
10 ファナック	電気機器	東証プライム	1.9%
合計			41.0%

※業種は東証33業種分類による。  
 ※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合 (銘柄数 225)

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 欧州株式型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日

【資産分類】外国株式

【運用方針】

欧州株式を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

原則として為替ヘッジを行いません。

【投資対象となる投資信託】

Janus Henderson Pan European Fund

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	180.85	-
2024年 1月31日	251.86	2.33%
2月29日	267.06	6.03%
3月31日	273.77	2.51%
4月30日	281.77	2.92%
5月31日	288.91	2.53%
6月30日	290.48	0.54%
7月31日	276.01	-4.98%
8月31日	269.39	-2.40%
9月30日	272.30	1.08%
10月31日	275.66	1.24%
11月30日	260.29	-5.58%
12月31日	264.50	1.62%
2025年 1月31日	276.59	4.57%
3ヶ月変化率		0.34%
6ヶ月変化率		0.21%
1年変化率		9.82%
3年変化率		52.94%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	12	0.3%
有価証券等		
Janus Henderson Pan European Fund	3,889	99.7%
その他	-	-
資産合計	3,902	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	3,902	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### Janus Henderson Pan European Fund の基本情報

【運用会社】 ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・UK・リミテッド

【運用対象】 欧州株式

【ベンチマーク】 MSCI Europe Index (MSCI欧州インデックス)

### 運用状況

#### ■組入上位5カ国 (2024.12末現在)

国名	構成比*
1 英国	23.57%
2 フランス	22.99%
3 ドイツ	18.83%
4 オランダ	10.22%
5 デンマーク	5.93%

\*純資産総額に対する比率。

#### ■業種別構成比\* (2024.12末現在)

業種	構成比
資本財・サービス	23.18%
金融	14.80%
ヘルスケア	13.19%
情報技術	12.36%
素材	9.42%
一般消費財・サービス	6.78%
生活必需品	6.75%
コミュニケーション・サービス	5.22%
エネルギー	4.70%
公益事業	1.33%
不動産	1.00%
現金および現金等価物	1.26%

\*純資産総額に対する比率。業種はGICSに基づく。

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比*
1 ノボ・ノルディスク	4.44%
2 ASMLホールディング	4.30%
3 SAP	3.71%
4 シーメンス	3.26%
5 シュナイダーエレクトリック	3.11%
6 シェル	2.81%
7 アストラゼネカ	2.67%
8 サンゴバン	2.64%
9 アリアンツ	2.58%
10 CRH	2.48%

\*純資産総額に対する比率。

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

<市場概況>

12月の欧州株式市場(ユーロベース)は若干下落しました。米国で米連邦準備制度理事会(FRB)が2025年の利下げペース減速を示唆したことや、トランプ次期大統領がEU製品に関税を課すと示したことなどから市場に懸念が広がりました。また、ドイツでシュルツ首相の信任投票が否決されたことや、フランスでバルニエ首相が不信任となりマクロン大統領がバイル氏を新たに首相に指名するなど、政治的な混乱が起こったことも嫌気されました。こうした環境下、欧州中央銀行(ECB)は景気下支えのため、0.25%の追加利下げを決定しました。

<今後の見通しと運用方針>

今後数か月は、米国による関税引き上げ方針と、中国の反応を注視する必要があると考えています。その一方で、欧州株式市場は他の市場と比べて出遅れていることから、質が高くグローバルに展開する企業への魅力的な投資機会があると見ています。このような環境下、市場が米大統領選の結果を消化し、トランプ氏の政策が適切に評価されるようになれば、ディフェンシブな動きが反転する可能性が高いと考えています。また、データセンターへの投資が継続していることや、サプライチェーンの自国回帰、各国の景気刺激策などが市場の成長を支えると考えています。長期的には、オートメーション化、デジタル化、脱グローバル化などの投資テーマに関連する企業が、今後の市場を牽引すると見て注目しています。こうした中、欧州にはバリュエーションが適正な大手グローバル企業が数多く存在することから、魅力的な投資機会が存在すると考えています。

\*当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きと一致するものではありません。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 米国株式型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2000年12月18日
- 【資産分類】外国株式
- 【運用方針】  
米国の成長株を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。
- 【投資対象となる投資信託】  
北米株式ファンド (適格機関投資家専用)

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	114	0.9%
有価証券等		
北米株式ファンド (適格機関投資家専用)	12,402	99.1%
その他	—	—
資産合計	12,517	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	12,517	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	266.75	—
2024年 1月31日	406.26	8.91%
2月29日	431.48	6.21%
3月31日	451.42	4.62%
4月30日	449.30	-0.47%
5月31日	478.09	6.41%
6月30日	505.58	5.75%
7月31日	477.79	-5.50%
8月31日	460.93	-3.53%
9月30日	477.28	3.55%
10月31日	514.76	7.85%
11月30日	528.22	2.62%
12月31日	551.54	4.41%
2025年 1月31日	542.71	-1.60%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 北米株式ファンド (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】日興アセットマネジメント
- 【運用対象】米国株式
- 【ベンチマーク】MSCI北米インデックス(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)\*

\* 2024年4月11日付でMSCI北米インデックスからMSCI北米インデックス(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)、に変更となりました。なお、本変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はありません。

### 運用状況

#### 国別上位投資比率 (2025.1末現在)

国別	比率
アメリカ	93.2%
カナダ	3.8%
アイルランド	1.5%
イギリス	0.8%
オランダ	0.3%
ルクセンブルグ	0.2%

#### 株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	通貨	業種	比率	銘柄名	通貨	業種	比率
1 MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	6.60%	6 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカドル	メディア・娯楽	3.12%
2 NVIDIA CORP	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	6.55%	7 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	銀行	2.74%
3 APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	5.13%	8 PROCTER & GAMBLE CO	アメリカドル	家庭用品・パーソナル用品	2.52%
4 ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.98%	9 BROADCOM INC	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.46%
5 AMAZON.COM INC	アメリカドル	一般消費財・サービス流通	4.41%	10 VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカドル	金融サービス	2.04%

※「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」は、マザーファンドの状況です。  
※「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は対純資産総額です。

(銘柄数 101)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### <運用概況>

1月の北米株式市場は上昇しました。上旬は、12月のISM製造業景況感指数が9カ月ぶりの高水準となったことを受けて、立ち上がりは上昇しましたが、続いて発表された12月のISM非製造業景況感指数や12月の雇用統計で米景気の底堅さが示されたことで利下げ観測が後退し、市場は下落に転じました。中旬は、物価関連指標が市場予想を下回り、インフレ懸念が和らいだことや、国際通貨基金(IMF)が発表した世界経済見通しで2025年の米国成長率が2.7%に引き上げられたことなどが支えとなり、市場は上昇しました。下旬は、トランプ新大統領が巨額の人工知能(AI)開発投資計画を発表したことなどを追い風に続伸した後、中国企業が開発した生成AIへの警戒感から反落しました。政策金利の据え置き、米政権による関税引き上げなども市場の重しとなりました。

1月の当ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。業種別では、金融、コミュニケーション・サービス、公益事業セクターなどが相対パフォーマンスにプラスに寄与した一方、情報技術、生活必需品セクターなどがマイナスに影響しました。

当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合がありますからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# グローバル・バランス型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日

【資産分類】 バランス

【運用方針】

日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。

【投資対象となる投資信託】

ダ・ヴィンチVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	141.33	-
2024年 1月31日	135.67	0.46%
2月29日	136.84	0.87%
3月31日	140.27	2.50%
4月30日	136.29	-2.84%
5月31日	137.85	1.14%
6月30日	138.86	0.73%
7月31日	139.60	0.53%
8月31日	140.19	0.42%
9月30日	142.46	1.62%
10月31日	140.34	-1.49%
11月30日	142.34	1.43%
12月31日	141.33	-0.71%
2025年 1月31日	141.87	0.38%
3ヶ月変化率		1.10%
6ヶ月変化率		1.63%
1年変化率		4.58%
3年変化率		0.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	15	0.7%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	2,211	99.3%
その他	-	-
資産合計	2,227	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	2,227	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

【運用対象】 日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)

【ベンチマーク】 MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメント・インデックス(グローバル)40%(ともに100% 為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2025.1末現在)

	構成比
世界株式	45.8%
世界債券	8.8%
円短期金融商品	45.4%
合計	100.0%

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### <資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、大型株に対してやや弱気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価が低いことからやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対してやや弱気の見通しとしている。

##### <株式国別配分>

株式国別配分においては、スペインやドイツに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやイタリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ドイツに対しては、モメンタムおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

##### <債券国別配分>

債券国別配分においては、フランスやカナダに対して強気の見通しとする一方で、ドイツやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ドイツに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

##### <通貨配分>

通貨配分においては、アメリカや日本に対して強気の見通しとする一方で、イギリスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。日本に対しては、ファンダフローおよびバリュエーションの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリュエーションおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、ファンダフローおよびバリュエーションの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

当資料は、Newアセット・ソリューションズ(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・Newアセット・ソリューションズ(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きと必ずしも一致するものではありません。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日

【資産分類】世界債券

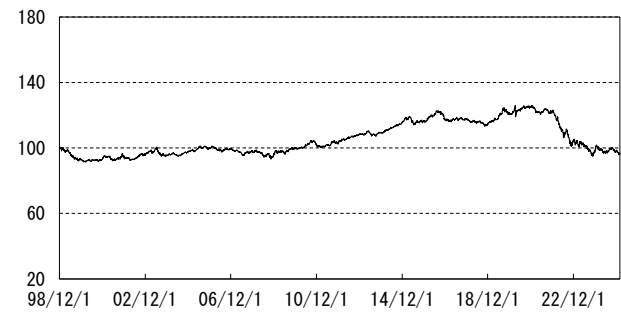
【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	119.61	-
2024年 1月31日	99.85	-1.88%
2月29日	98.63	-1.22%
3月31日	99.29	0.67%
4月30日	96.80	-2.51%
5月31日	96.67	-0.14%
6月30日	97.57	0.93%
7月31日	98.39	0.84%
8月31日	99.32	0.95%
9月30日	99.68	0.36%
10月31日	98.04	-1.65%
11月30日	98.26	0.23%
12月31日	97.15	-1.13%
2025年 1月31日	96.77	-0.40%
3ヶ月変化率		-1.29%
6ヶ月変化率		-1.65%
1年変化率		-3.08%
3年変化率		-19.09%

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

\*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	0.0%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	3,228	100.0%
その他	-	-
資産合計	3,229	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	3,229	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2025.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	45.8%	-0.3%
カナダ	1.8%	1.6%	0.1%
メキシコ	0.7%	1.0%	0.1%
日本	10.0%	9.7%	98.5%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	-	-
シンガポール	0.3%	0.6%	0.1%
中国	10.4%	9.8%	0.3%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.6%
インドネシア	-	0.1%	0.0%
ユーロ	26.5%	34.3%	0.3%
英国	4.6%	4.6%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.1%

#### ■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	4.2%
2 日本国債	0.10%	2031/9/20	3.5%
3 フランス国債	-	2025/2/25	2.3%
4 アメリカ社債	1.875%	2027/4/27	2.3%
5 アメリカ特殊債	6.00%	2025/2/13	2.2%
6 フランス国債	2.75%	2030/2/25	1.9%
7 アメリカ国債	4.25%	2026/12/31	1.5%
8 ドイツ国債	2.20%	2034/2/15	1.4%
9 イタリア国債	3.00%	2029/8/1	1.3%
10 中国国債	2.68%	2030/5/21	1.3%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 277）

修正デュレーション=平均6.69年（ベンチマーク=同6.86年）

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 米国債券型 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年8月4日  
 【資産分類】外国債券  
 【運用方針】  
 米国の公社債、モーゲージ証券、資産担保証券等に分散投資を行い、元本の安全性に配慮しながら、慎重な資産運用の下に、トータル・リターンの拡大を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。  
 【投資対象となる投資信託】  
 Janus Henderson Flexible Income Fund

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	27	0.9%
有価証券等		
Janus Henderson Flexible Income Fund	2,921	99.1%
その他	—	—
資産合計	2,948	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,948	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	206.22	—
2024年 1月31日	240.66	3.32%
2月29日	242.65	0.83%
3月31日	246.60	1.63%
4月30日	249.35	1.12%
5月31日	251.82	0.99%
6月30日	263.52	4.64%
7月31日	253.60	-3.76%
8月31日	246.56	-2.78%
9月30日	246.05	-0.21%
10月31日	257.57	4.69%
11月30日	254.31	-1.27%
12月31日	262.48	3.21%
2025年 1月31日	258.93	-1.36%
3ヶ月変化率		0.53%
6ヶ月変化率		2.10%
1年変化率		7.59%
3年変化率		25.56%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### Janus Henderson Flexible Income Fund の基本情報

【投資顧問会社】Janus Henderson Investors US LLC  
 【運用対象】米国債券  
 【ベンチマーク】Bloomberg Barclays US Aggregate Bond Index

### 運用状況

#### ■資産別構成比 (2024.12末現在)

資産クラス	構成比
モーゲージ債	25.5%
投資適格債	24.2%
国債	14.2%
不動産抵当証券担保証券	11.2%
商業用不動産担保証券	6.7%
資産担保証券	4.9%
ハイイールド社債	4.3%
バンクローン	4.2%
ローン担保証券	1.8%
その他	0.1%
現金および現金等価物	2.8%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■格付別構成比 (2024.12末現在)

格付	構成比
Aaa	11.6%
Aa	41.0%
A	5.3%
Baa	24.6%
Ba	8.7%
B	0.9%
格付無し	5.2%
株式	—
現金および現金等価物	2.8%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比
1 United States Treasury Note/Bond 4.25 11/15/2034	3.4%
2 United States Treasury Note/Bond 4.13 11/30/2029	2.6%
3 United States Treasury Note/Bond 4.63 06/30/2026	2.2%
4 United States Treasury Note/Bond 4.25 12/31/2026	2.1%
5 Janus Henderson Asset-Backed Securities Fund Z Acc USD Hedged	2.0%
6 United States Treasury Note/Bond 4.25 08/15/2054	1.7%
7 Citigroup Inc 5.59 11/19/2034	1.2%
8 Freddie Mac Pool 6.00 09/01/2053	0.9%
9 Freddie Mac STACR REMIC Trust 2021-DNA6 6.07 10/25/2041	0.8%
10 Morgan Stanley Capital I Trust 2015-UBS8 3.81 12/15/2048	0.7%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

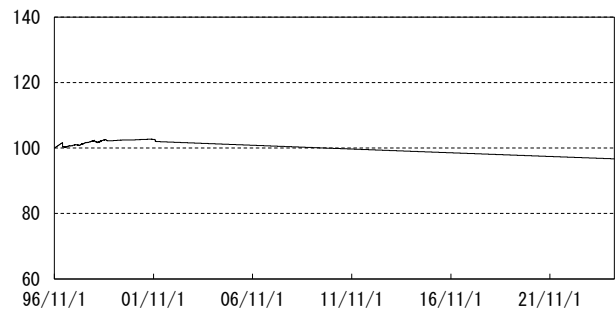
・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
 【資産分類】短期金融商品  
 【運用方針】  
 円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。  
 【投資対象】  
 短期金融商品

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	97.37	-
2024年 1月31日	96.92	-0.02%
2月29日	96.91	-0.02%
3月31日	96.89	-0.02%
4月30日	96.87	-0.02%
5月31日	96.85	-0.02%
6月30日	96.83	-0.02%
7月31日	96.81	-0.02%
8月31日	96.79	-0.02%
9月30日	96.77	-0.02%
10月31日	96.76	-0.02%
11月30日	96.74	-0.02%
12月31日	96.72	-0.02%
2025年 1月31日	96.70	-0.02%
3ヶ月変化率		-0.06%
6ヶ月変化率		-0.12%
1年変化率		-0.23%
3年変化率		-0.69%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,333	100.0%
有価証券等	-	-
その他	-	-
資産合計	1,333	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,333	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 短期金融商品ファンドの基本情報

【運用会社】特に定めません。  
 【運用対象】短期金融商品  
 【ベンチマーク】特に定めません。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期保険金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項目	費用
保険関係費用	保険契約の締結・維持に必要な費用、死亡・高度障害保険金を支払うための危険保険料、基本保険金額を最低保証するための費用 ※契約年齢等により契約ごとに異なるため、費用の合計額や上限額を表示することができません。
資産運用関係費用*	投資信託の純資産総額に対して上限年率1.50%程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。
特別勘定運営費用	特別勘定の純資産総額に対して年率0.2%

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

### ■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項目	内容	費用
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して…年率4%

### ■契約日から10年以内、かつ保険料払込期間中に解約・減額された場合、解約日の積立金額から経過年数に応じた所定の金額（解約控除）を控除した金額が解約払戻金額となります。

※上記期間経過後は、積立金額と解約払戻金額は同額となります。

※保険料払込方法が一時払の場合は、解約控除は発生しません。

## ご注意いただきたい事項

- 「Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---